

表1 平成28年度 自動撮影装置設置箇所

地点 番号	行政区・ 地点名	前年度 からの 設置状況 <sup>1)</sup>	国有林名	林小班名	緯度	経度	標高 (m)	設置箇所の林齢・周囲の環境・設置状況等	設置日	撤去日	稼働 日数	設置状況:TREL10J				設置状況:Fieldnote			
												方向	高さ (m)	撮影 奥行 (m)	上下 角度	方向	高さ (m)	撮影 奥行 (m)	上下 角度
1	深浦町 岩坂 大童子川	新規	築棒沢山	2020 へ5	40° 42' 38.13"	140° 07' 02.60"	54	42年生のスギ林で、大童子川沿いの水田に隣接している。水田沿いの農道に向けて設置。	5月17日	11月17日	185	SE	1.8	4	-5°	NNE	1.7	3	-10°
2	深浦町 北金ヶ沢	同じ	小童子山	2001 ち	40° 45' 04.30"	140° 04' 07.35"	150	66年生の広葉樹林で、北側約200mを走る広域農道沿いに牧草地が広がる。官民地界の未舗装路に向けて設置。	5月13日	11月17日	189	NE	2.0	11	-10°				
3	深浦町 追良瀬川	変更	北追良瀬山	3036 そ	40° 38' 47.31"	140° 02' 47.11"	93	採石場に近接した52年生のスギ林で、周囲は100年生を超える広葉樹林が広がる。追良瀬川に降りる作業道沿いに設置。	5月13日	11月17日	189	NE	1.2	3	-5°	SW	1.6	2.5	-5°
4	深浦町 長慶平北	同じ	広戸山	3048 て3	40° 38' 25.85"	140° 00' 03.12"	285	79年生のスギ林で、約20m西側には長慶平から追良瀬に至る舗装路が延びる。搬出路入口付近に設置。	6月2日	11月17日	169	NNW	1.6	4	-5°				
5	深浦町 深浦 吾妻川	変更	深浦山	3055 ほ1	40° 38' 24.28"	139° 57' 33.79"	32	36年生のスギ林で、吾妻川右岸沿いの民有地は水田として利用されている。作業道沿いに国有林側に向けて設置。	5月13日	12月22日	224	NE	2.5	6.5	-10°	NE	2.3	6.5	-10°
6	深浦町 長慶平南	変更	西岩崎山	3075 ほ1	40° 35' 08.38"	140° 00' 01.46"	227	63年生のカラマツ林で、送電線敷の伐開地に近接し、周囲には牧場跡の草場が広がっている。官民地界の歩道沿いに設置。	6月2日	11月17日	169	WNW	1.3	2.5	-5°	SE	1.1	2	-5°
7	深浦町 津梅川	新規	大間越山	3096 そ	40° 28' 42.40"	139° 57' 37.09"	60	72年生の広葉樹林で、民有地の間伐適期のスギ林に隣接する。官民地界の歩道沿いに設置。	6月2日	11月17日	169	NNW	1.9	4.5	-10°				
8	深浦町 入良川	同じ	イラ川山	3104 か1	40° 27' 05.95"	139° 57' 31.30"	45	90年生の広葉樹林で、周囲には40年生前後のスギ林も生育する。入良川に降りる作業道沿いに設置。	6月2日	11月17日	169	NW	1.6	6.5	-5°	NE	1.4	3.5	-5°
9	鱒ヶ沢町 一ツ森	同じ	西赤石山	2031 に	40° 40' 03.62"	140° 08' 44.02"	97	56年生の広葉樹林で、東側約400mの赤石川左岸に養魚場や公園が整備されている。佐内沢に降りる作業道に向けて設置。	6月3日	11月10日	161	N	1.6	4.5	-5°				
10	鱒ヶ沢町 一ツ森 町 赤沢	変更	東赤石山	2051 は1	40° 39' 14.65"	140° 09' 07.90"	100	77年生のスギ林で、北側の民有地には畑や水田が広がっている。赤沢の流路沿いに設置。	6月3日	11月10日	161	SSW	1.6	3.5	-5°				
11	鱒ヶ沢町 矢倉山	変更	矢倉山	2045 は2	40° 40' 45.75"	140° 12' 51.95"	258	22年生のスギ林で、周囲も主に30~60年生前後のスギ林である。小班内の作業道に向けて設置。	5月17日	11月10日	178	E	1.2	3.5	0°				
12	鱒ヶ沢町 長平町 赤倉	同じ	西岩木山	2079 い2	40° 41' 34.70"	140° 19' 36.65"	360	48年生のスギ林で、北側の民有地には牧草地やリンゴ園が広がる。林内の作業道に向けて設置。	5月16日	11月10日	179	ENE	1.9	4	-5°				
13	弘前市 百沢 弥生	同じ	東岩木山	36 は	40° 39' 46.15"	140° 21' 25.82"	287	47年生のスギ・アカマツ林で、東側の民有地は広くリンゴ園として利用されている。小沢沿いの歩道に設置。	5月16日	11月10日	179	NNE	1.7	3	0°	NNE	1.5	3	0°
14	弘前市 黒岩沢	同じ	黒森	22 は9	40° 37' 03.26"	140° 14' 40.73"	342	69年生のスギ・カラマツ林で、近隣小班の大部分は50年生前後のスギ・カラマツ林である。林道に向けて設置。	5月27日	11月10日	168	NE	1.6	4.5	-5°				
15	弘前市 中村川	変更	上中村山	21 口	40° 36' 35.32"	140° 14' 15.73"	262	沢敷の雑種地だが、周囲は60年生前後のスギやカラマツ・アカマツの造林地で、伐採作業が行われている。作業道に向けて設置。	5月27日	11月10日	168	SW	1.6	3.5	-5°	ESE	1.5	3.5	-5°
16	弘前市 相馬 作沢川	変更	萱菴	393 二	40° 31' 38.50"	140° 20' 43.03"	254	釜山の集落跡の草地に隣接し、周囲は主に50年生以上のスギ林が生育している。集落跡地の小沢沿いの作業道に向けて設置。	6月15日	11月8日	147	W	1.8	2	-5°	W	1.6	2	-5°
17	西目屋村 大秋	新規	網滝山	197 る7	40° 34' 15.67"	140° 15' 06.44"	287	58年生のスギ・カラマツ林で、隣接する民有地には水田やソバ畑が広がる。林内の作業道に向けて設置。	5月27日	11月8日	166	W	1.5	3	-5°				
18	西目屋村 大秋 滝沢	同じ	網滝山	192 い8	40° 33' 26.83"	140° 13' 38.89"	423	67年生のカラマツ林で、黒沢支流の小沢の源頭部に位置する。林道脇に作設された待避所に向けて設置。	5月27日	11月8日	166	SSW	4.0	11	-15°	E	1.5	7	0°
19	西目屋村 湯ノ沢川	同じ	湯ノ沢	114 口1	40° 29' 29.57"	140° 16' 29.01"	248	灌木類が生育する雑種地だが、隣接する小班は55年生のスギ林、湯ノ沢川の対岸は80年生の広葉樹林である。スギ林に至る作業道沿いに設置。	6月15日	11月8日	147	NW	1.6	4	-5°				
20	西目屋村 釣瓶落峠	変更	湯ノ沢	118 め	40° 26' 41.47"	140° 19' 14.58"	578	140年生の広葉樹林で、「白神八甲田緑の回廊」に指定されている。尻高沢に合流する小沢の合流点付近に設置。	6月15日	11月8日	147	N	1.7	3	-5°	N	1.5	3	-5°
カメラ設置台数											計20台				計10台				

1) 前年度から新たに追加した箇所を「新規」、引き続き継続した箇所を「同じ」、同じ路線内で場所を移動させた箇所を「変更」と表記

表2 自動撮影装置による各調査地点の確認種・個体数<sup>1)</sup>

種名 <sup>2)</sup>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	
ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	17	8		7	41	6	16	8	3	22	11			15	13	18	4	17	30		236	
キツネ <i>Vulpes vulpes</i>		14	11	17	6		3	1			1		1		●	2	2				58	
タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>	12	10	15	37	8	●	1	4	1	9	1		3	1	1	6	2		11		122	
イヌ <i>Canis familiaris</i>																			2		2	
ツキノワグマ <i>Ursus thibetanus</i>		2	1	7	2	3	9	10	1			1	6	3	2	5	4	2	8	1	67	
アライグマ <i>Procyon lotor</i>													2								2	
テン <i>Martes melampus</i>		2		2	1	●		1		3			●	1	2	5	2		2	12	33	
イタチ <i>Mustela itatsi</i>			●							4			●				1				5	
アグマ <i>Meles meles</i>	7	4	24	20	2		1	2	4	4			4			5				6	83	
ハクビシン <i>Paguma larvata</i>			2	4			3	1		23	1		2		6	14			3	1	60	
イネコ <i>Felis catus</i>		3		2				1													6	
ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>				2		1	1	●													4	
カモシカ <i>Capricornis crispus</i>		22		15	8	9	14	20	1	5	17	1	2	9	15	26	9	6	2	1	182	
ニホンリス <i>Sciurus lis</i>						●		●					●								1	1
ニホンノウサギ <i>Lepus brachyurus</i>	3	1	3	21		●		6		9			1	2	6	23	3	2	62	13	155	
不明コウモリ類	● <sup>5)</sup>																				0	
不明ネズミ類																					12	12
不明哺乳類	3	43	5	22	9	1	5	3	2	19	1		9		2	19	1	1	13	6	164	
哺乳類個体数合計	42	109	61	156	77	20	53	57	12	98	32	2	30	31	47	123	28	28	139	47	1192	
哺乳類補正個体数 <sup>3)</sup> 合計	2.28	5.80	3.24	9.29	3.45	1.19	3.15	3.39	0.75	6.13	1.81	0.11	1.69	1.86	2.81	8.42	1.70	1.70	9.52	3.22	3.50	
哺乳類種数合計 <sup>4)</sup>	4	9	7	11	7	8	8	12	5	8	5	2	11	6	8	9	8	4	9	6	15	
ヤマトリ <i>Syrmaticus soemmerringii</i>	●		●					●							●			●	2		2	
キジバト <i>Streptopelia orientalis</i>		2				●				5				2		7	3				19	
ノスリ <i>Buteo buteo</i>													●								0	
カケス <i>Garrulus glandarius</i>																				●	0	
ヤマカウ <i>Poecile varius</i>								●													0	
不明鳥類	2							1					1							1	5	
ヤマカガシ <i>Rhabdophis tigrinus</i>															●						0	
全個体数合計	44	111	61	156	77	20	53	58	12	103	32	2	31	33	47	130	31	28	141	48	1218	
全種数合計 <sup>4)</sup>	5	10	8	11	7	9	8	14	5	9	5	2	12	7	10	10	9	5	10	7	21	

1) 連写の場合は、一連の撮影で写った最大個体数

2) 哺乳類と鳥類の種名・配列は、日本の哺乳類[改訂2版](2008)及び日本鳥類目録 改訂第7版(2012)に従った

3) 延べ撮影頭数/CN×10, 詳細は本文参照

4) 不明種は種数に含めていない

5) ●:Fieldnoteでのみ撮影されたもの, 種数には含め個体数には含めていない